

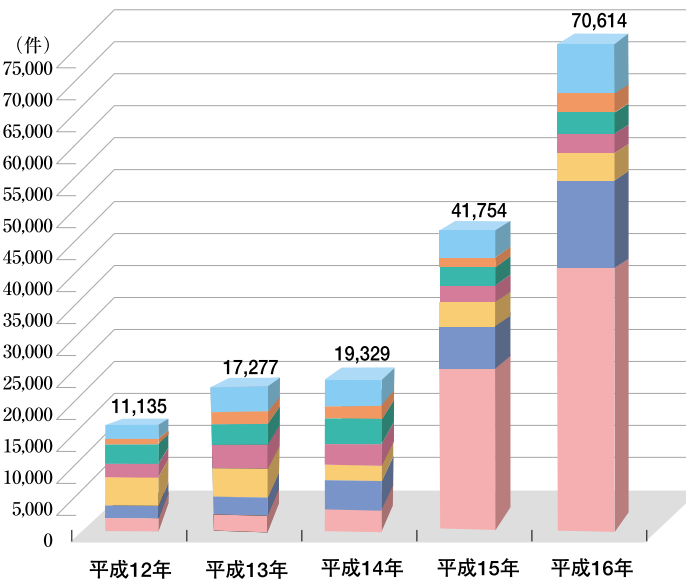
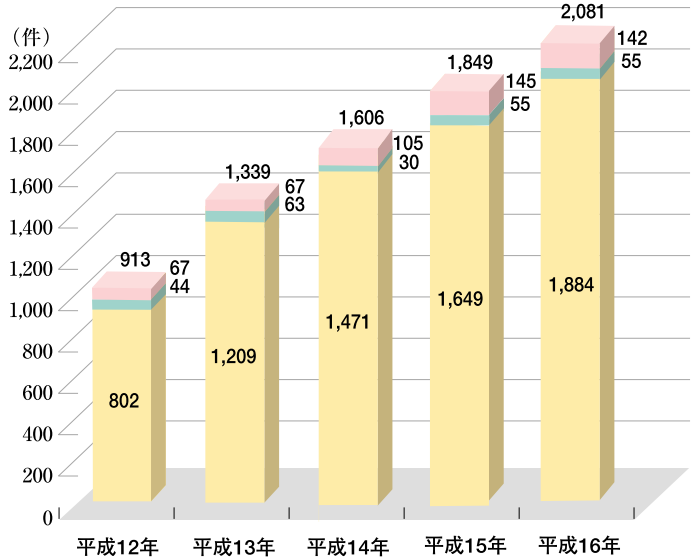
サイバー犯罪が増え続けています

便利で身近なインターネットが普及する一方で、サイバー犯罪の検挙件数や相談は年々増加しています。私だけは大丈夫と思っていませんか？サイバー犯罪の被害者にならないよう日頃から十分注意しましょう。

サイバー犯罪の検挙状況

サイバー犯罪の検挙件数は年々増加し、平成16年には2,081件となり、前年より232件の増加となりました。

このうち多くを占めるのは、ネットワーク利用犯罪で、検挙件数の約91%にあたります。



サイバー犯罪に関する相談受理状況

平成16年中に全国の警察で受理したサイバー犯罪に関する相談件数は、70,614件となり、前年に比べて約1.7倍に増加しています。

なかでも、架空請求・不当請求メールなど詐欺・悪質商法に関する相談やインターネット・オークションに関する相談が急増しています。

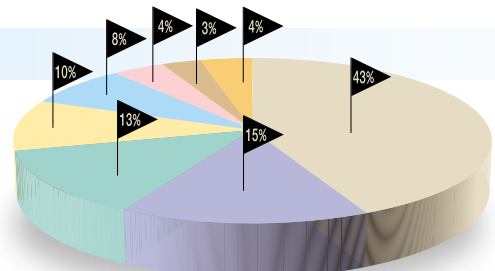
- その他
- 不正アクセス、コンピュータウイルス関係
- 名誉毀損・誹謗中傷関係
- 迷惑メール関係
- 違法・有害情報関係
- インターネット・オークション関係
- 詐欺・悪質商法関係

不正アクセス行為

不正アクセス禁止法違反の検挙も年々増加し、平成16年中は65事件(142件)が検挙となりました。そのうち28事件(61件)が、パスワードがIDから容易に推測できるものや誕生日の番号等であるなど、利用権者の設定・管理の甘さにつけ込んでIDやパスワードを入手するものが多い。

不正アクセスされないために

- パスワードは、他人には推測が難しいものを設定し、定期的に変更して下さい。
- リマインダ機能の質問に対する回答も同様です。



平成16年不正アクセス行為検挙件数

- 推測されやすいパスワードを推知
- 立场上、識別符号を認知
- 不正プログラムを使用して入手
- 利用権者からの聞き出し・のぞき見
- セキュリティ・ホール攻撃型
- リマインダ機能における質問への安易な回答を推知
- 利用権者の言動から偶然入手
- その他